

科目名	パーソナルカラーA											
科目名(英)												
単位数	4		時間数		60		担当者		中村・東			
実施年度	2022		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年											
授業概要	衣食住の様々なシーンでの色の重要性を知り、ビジネスの場でパーソナルカラーを活かしながら、モノだけではなくコミュニケーションツールとして活用する。色の知識を深め、センスを磨き応用力を身につけパーソナルカラリスト検定習得を目指す。											
授業形式	講義：○		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					パーソナルカラリストの特徴を理解し、人に合う色やファッション、ヘア・メイクを提案出来る。						
		○				色の見える仕組みや歴史を理解し、色を分類する力を養う。						
		○				配色効果を学び、色の選択が出来る。						
		○				ブライダルと色の関連性を学び、トータルの色の応用力を身につける。						
				○		人の特徴に合わせた色のプレゼンテーションが出来る。						
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラリスト検定公式テキスト・カラーカード・パーソナルカラリスト問題集3・2級 COLOR Arrangement											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	色彩と文化1～日本の色の歴史や生活の中での色を知る					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと					
	2	色彩と文化1～色の種類やその特徴					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	3	色彩と文化2～色の種類やその特徴					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	4	色彩理論～色のしくみ					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	5	色彩理論～CUS表式系					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	6	色彩理論～色の三属性と対比現象					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	7	色彩理論～色の三属性と感情効果					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	8	色彩理論～CUS配色効果 アンダートーン配色					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	9	色彩理論～CUS表式系					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	10	色彩理論～CUS表式系					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	11	色彩理論～CUS表式系					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	12	色彩とファッション～ファッション概論					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	13	色彩とファッション～ブライダルと色彩					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
	14	色彩とファッション					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題					
15	パーソナルカラーの特徴1～ブルーアンダートーン					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題						
評価方法	(1)プリント、課題を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	○		◎								80%
	宿題・レポート			○				○				20%
履修上の注意												

科目名	和装着付け演習									
科目名(英)										
単位数	2		時間数		30		担当者		藤原 美樹先生	
実施年度	2022		実施時期		前期		担当者実務経験		美容師、ブライダルヘアメイク、着付け	
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年									
授業概要	日本の伝統文化「和装」に興味を持ち、振袖の着付け方法を学び、相手に着付けが出来るようになる。									
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○					着付けに必要な物品を準備することができる				
	△		○			着物の名称を知り、チームで協力して着付けができる				
				○		モデルへ身体的苦痛を与えていないか、他者への配慮ができる				
				○		限られた時間の中で チームで協力して振袖の着付けができる				
		○				浴衣の着付け、帯結びが 自分でできる				
テキスト・教材 参考図書	振袖の名称(百日草) hyakunichiso.com									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	振り袖着付けの基礎(名称). 足袋の履き方～補正					足袋の履き方、補正タオルの折り方を復習しておく			
	2	名称筆記試験/肌着～補正～長襦袢の着付け					名称を復習しておく			
	3	長襦袢～着物まで着付ける					着物の着丈、腰紐の結ぶ位置の復習しておく			
	4	チームで長襦袢まで完全に着付けが出来るようになる					着付けの手順を チームで協力して覚えていく			
	5	着物～帯まで 着付ける					帯の折り方 を復習しておく			
	6	チームで着物まで完全に着付けが出来るようになる					チームで協力して復習しておく			
	7	帯結び(お太鼓結び)の練習					お太鼓結びの復習をしておく			
	8	着付けお太鼓結びまで実技試験①					3人がお太鼓結びが出来るように復習しておく			
	9	帯結び(文庫結び)の練習					文庫結びの復習をしておく			
	10	チームで文庫結びが完全に出来るようになる					3人が文庫結びが出来るように復習しておく			
	11	実技試験の向けて 各チーム練習					タイムオーバーの原因を見つけ出しておく			
	12	実技試験に向けて 各チーム練習					アドバイスの箇所を復習しておく			
	13	文庫結び実技試験 ②					アドバイスの箇所を復習しておく			
	14	実技試験 ③					アドバイスの箇所を復習しておく			
	15	浴衣の着付け 綺麗な襟足とは					浴衣を自分で着付けの復習しておく			
評価方法	(1)授業内実技試験を3回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験(実技)				◎			80%		
	定期試験(筆記)		○					20%		
履修上の注意	公欠の学生には、各チームで協力をして前回の着付け方を伝えろ。全員で振袖の着付けが出来るようになる									

科目名	イベントプランニング											
科目名(英)	Event planning											
単位数	2		時間数		30		担当者		中村 直輝			
実施年度	30		実施時期		前期		担当者実務経験		ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年											
授業概要	ブライダル業界において必要となってくる募集・企画・運営・経理についてを学び、実践する。ブライダル実習室を使用したファッションショーという括りの中で、テーマの設定から当日の運営までをクラスメイトと協力して行う。ブライダル・ウエディング科の集大成である模擬結婚式に向けての前段階としての位置付けとする。											
授業形式	講義:		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
				○		ファッションショー本番までの流れを理解し、主体性を持って準備に取り掛かることができる。						
		○				オリジナリティに溢れたファッションショーのテーマを設定できる。						
		○				これまでの授業内容を取り入れたファッションショーの企画を設定できる。						
		○				計画的な備品購入を行い、正確な経費精算の報告を行うことができる。						
			○			ファッションショー本番にてクラスメイトと協力し、運営に携わることができる。						
テキスト・教材 参考図書	なし											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	授業概要説明、グループ分け、スケジュール、テーマ決め					進捗状況をグループ内で共有しておくこと					
	2	進行内容決め①										
	3	進行内容決め②										
	4	担当役割決め、本番に向けての準備(制作物考案)①										
	5	担当役割決め、本番に向けての準備(制作物考案)②										
	6	本番に向けての準備 ※ここからはグループに分かれての授業										
	7	本番に向けての準備										
	8	本番に向けての準備										
	9	本番に向けての準備										
	10	本番に向けての準備										
	11	本番に向けての準備										
	12	リハーサル準備(立ち位置・流れ確認)										
	13	本番に向けての準備、リハーサル										
	14	最終リハーサル										
	15	オープンキャンパス当日にてファッションショーの運営										
評価方法	(1)出席状況や授業中の態度・意欲を成績評価とする。(2)当日の募集人数も成績評価に含まれる。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	出席状況・授業態度				○				◎		90%	
	オープンキャンパス参加人数								◎		10%	
履修上の注意	授業外でもグループ内で打ち合わせや備品購入を行い、当日の運営に向けて準備を進めること。											

科目名	テーブルコーディネート演習											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30		担当者		東 まゆみ			
実施年度	2022		実施時期		前期		担当者実務経験		門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・2年											
授業概要	披露宴会場用のテーブルコーディネートを学び、イメージに合わせた装花がアレンジできるようになる。 アフタヌーンティーのテーブルコーディネートができるようになる											
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○					テーブルコーディネートの組み立て、企画、構成ができるようになる						
			○			披露宴会場のイメージに合ったテーブルコーディネートができるようになる						
			○			アフタヌーンティーに合わせたテーブルコーディネートができるようになる						
テキスト・教材 参考図書	ブライダル装美と演出・ブライダルフラワーコーディネーター検定・生花・アーティフィシャルフラワー・クロス、花器											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1	テーブルコーディネートとは(組み立てについて)										
	2	テーブルコーディネートとは(テーブル構成)										
	3	イメージスケールについて(イメージスケール作成①)(小テスト①)										
	4	イメージスケールについて(イメージスケール作成②)(課題提出)						次回までにイメージスケール完成させる				
	5	アーティフィシャルフラワーを使って色によるイメージ作り										
	6	イメージに合わせたテーブルコーディネート①										
	7	イメージに合わせたテーブルコーディネート②										
	8	イメージに合わせたテーブルコーディネート③										
	9	イメージに合わせたテーブルコーディネート④										
	10	会場装花について(小テスト②)										
	11	アフタヌーンティーについて										
	12	紅茶について										
	13	紅茶の淹れ方、特徴について										
	14	アフタヌーンティー						アフタヌーンティーに必要な物準備				
15	小テスト③						ノートプリント整理しておく					
評価方法	(1)単元ごとに小テストを3回実施する。(2)イメージスケール作品提出 (3)①～④作品制作発表評価											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	小テスト3回		◎									30%
	課題提出				○							20%
	発表・作品				○				◎			50%
履修上の注意												

	マナープロトコール											
科目名(英)												
単位数	2		時間数		30		担当者		玉置 万理子			
実施年度	2022		実施時期		前期		担当者実務経験		航空会社客室乗務員			
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科2年											
授業概要	国際化の著しい現代社会において異文化に対する理解は不可欠なものであるが、その前提として日本人、社会人として必須のビジネスマナー、テーブルマナー、プロトコール(国際儀礼)、冠婚葬祭に関わる知識や技能を、できるだけ正しく学び、理解する。											
授業形式	講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					日本の礼儀作法と西洋のマナー・エチケットの成り立ち・アジアのマナーを説明できる。						
	○					国際人としてのプロトコールの原則、社交の場でのコミュニケーション方法を説明できる。						
	○					電話対応のポイント、敬語、ビジネスシーンでのコミュニケーション方法のポイントを説明できる。						
	○					食事のマナーとして、和食・西洋料理・中国料理・各国料理のマナーの特徴を説明できる。						
	○					冠婚葬祭のしきたりのポイントを説明できる。						
テキスト・教材 参考図書	NPO法人日本マナー・プロトコール協会 マナー＆プロトコールの基本知識											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	マナーの歴史と意味 ー日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと					
	2	プロトコール ープロトコールの基本原則と席次					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと					
	3	プロトコール ーパーティの種類とマナー					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと					
	4	プロトコール ー国旗の基本原則・礼拝堂でのマナー、伝統文化					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと					
	5	ビジネスマナー ー服装のマナー、印象					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと					
	6	ビジネスマナー ー手紙のマナー、ビジネス文書、贈答のマナー					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと					
	7	食事のマナー ー和食、西洋料理、その他国料理のマナー					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと					
	8	冠婚葬祭 ー日本の通過儀礼					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと。婚のしきたりを読んでおく。					
	9	冠婚葬祭 ー祭のしきたり					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと。葬のしきたりを読んでおく。					
	10	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。					
	11	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。					
	12	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。					
	13	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。					
	14	試験 ー試験実施、解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。					
	15	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。					
評価方法	(1)授業の中で各章ごとに確認テストを実施する。(2)授業の中で定期試験にかわる試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	単元テスト	◎										40%
	授業内筆記試験	◎						○				50%
	宿題	◎										10%
履修上の注意	マナープロトコール検定試験3級を受験。											

科目名	SPI II											
科目名(英)	Synthetic Personality Inventory II											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		合力 朱実			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年											
授業概要	航空業界の採用試験で多くの航空会社が導入しているSPI試験の対策授業。非言語分野問題(数学)をメインに、SPI I で学習したことを基礎として、SPI II では更に応用力を身に付け確実に問題に解答できる力を養う。											
授業形式	講義: O		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:O その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	O					各項目の解法を理解し、式をたてることができる。						
	O					制限時間内に解答することができる。						
	O					模擬試験問題を7割以上の正答率で解答することができる。						
テキスト・教材 参考図書	「1日30分7日間で完成 2024年度版 7日でする！ SPI必勝トレーニング」 高橋書店											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	授業概要・シラバス説明、SPI I 復習										
	2	模擬試験問題:仕事算、速度算、確率、N進法、推論					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	3	模擬試験問題:N進法、集合、確率					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	4	模擬試験問題:確率、推論、集合					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	5	模擬試験問題:速度算、順列、組み合わせ					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	6	模擬試験問題:推論、順列、組み合わせ、集合					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	7	模擬試験問題:推論、仕事算、割合、N進法					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	8	模擬試験問題:損益算、割合、集合					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	9	模擬試験問題:速度算、損益算、確率					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	10	模擬試験問題:2～9のまとめ・確認テスト					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	11	模擬試験問題:分割払い、料金割引、料金精算					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	12	模擬試験問題:速度算、資料解釈					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	13	模擬試験問題:集合、推論					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	14	模擬試験問題:推論					テキストの該当部分の復習(1時間)					
	15	模擬試験問題:2～9、11～14のまとめ					テキストの該当部分の復習(1時間)					
評価方法	(1)定期試験 (2)確認テスト (3)出席状況を意欲点として評価 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験(筆記)	◎		O				O				80%
	確認テスト(筆記/2回)	◎		O				O				10%
	出席状況							O				10%
履修上の注意												

科目名	文書表現Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2		時間数	30	担当者	合力朱実	
実施年度	2022年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年						
授業概要	書くことの基本スキルを学ぶことによって、就職試験に必要とされる「読む力」「書く力」を身につける。また、伝わる文章の作成を目指し、変化する社会に必要な「論理的思考力」「コミュニケーション力」を身につける。文章検定3級の取得を目指す。						
授業形式	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					正しい言葉・文法を使って、文章を書くことができる。	
		○				図表を含む文章の情報を正しく読み取ることができる。	
		○				文章の中で、文や段落の役割、文章の要旨を理解することができる。	
		○				社会生活で必要な通信文を書くことができる。	
		○				3段落構成の意見文を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	「基礎から学べる！文章カステップ」(文章検3級対応)、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	・科目概要、シラバス説明、文章検定3級について					
	2	第1章 語彙・文法(1～3ステップ)				テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。復習すること。	
	3	第2章 資料分析(1～5テツプ)				テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。復習すること。	
	4	第3章 文章読解(1～3ステップ)				テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。復習すること。	
	5	第3章 文章読解(4～5ステップ)				テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。復習すること。	
	6	第3章 文章読解(6～7ステップ)				テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。復習すること。	
	7	第5章 意見文(1～2ステップ)				テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。復習すること。	
	8	第5章 意見文(3～4ステップ)				テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。復習すること。	
	9	第5章 意見文(5～6ステップ)				テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。復習すること。	
	10	第5章 意見文(7ステップ)				テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。意見文を仕上げておくこと。	
	11	・伝わる意見文を書くためのポイント				復習しておくこと。	
	12	第4章 手紙文(1～5ステップ)				テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。復習すること。	
	13	・意見文作成				自分の意見文の課題を確認すること。	
	14	・小テスト 第1回文章検定模擬試験				テスト内容を復習しておくこと。	
	15	・まとめと試験対策、文章検定3級対策				文章検定に向け復習。	
評価方法	(1)授業の中で小テスト実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。(4)発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎		○		70%
	小テスト	○			◎		10%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
	発表	◎	◎		◎		10%
履修上の注意							

科目名	Excel						
科目名(英)							
単位数	3		時間数	45		担当者	山田 智子
実施年度	2022		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年						
授業概要	企業で最も使われているソフトの一つであるExcelの操作方法を習得する。Excelは統合表計算のソフトウェアといわれ、表計算・グラフ作成・データベース機能を持っている。テキスト「30時間でマスターExcel2016」を使ってそれらの機能の基本的な操作方法を習得する。問題集「2016対応 Word 文書処理技能認定試験 3級問題集」を使ってより高度な機能の習得と検定対策の学習をする。また、検定対策の一環として客観的に自分の解答が正しいか判断できるようになるため自己採点を行う。						
授業形式	講義：		演習：		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				Excelで作作成ができる。	
		○				Excelでグラフの作成と編集ができる。	
		○				Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる。	
	○					Excelで使われる正しい用語の説明ができる。	
	○		△			Excel表計算処理技能認定試験3級に合格する。	
テキスト・教材 参考図書	30時間でマスター Excel2016 2016対応 Excel 表計算処理技能認定試験 3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	Excelの概要・データの種類と入力方法					テキスト記載の実習問題1～4の表作成を完成させる
	3	簡単な表の作成・練習問題					テキスト記載の実習問題1～4のグラフ作成を完成させる
	6	基本のグラフ作成・練習問題					テキスト記載の実習問題7～10を完成させる
	8	表の編集(表の構成・書式設定・罫線)					テキスト記載の実習問題11～15を完成させる
	9	10 セルの書式設定・絶対参照を使う計算・関数(Σから選べる関数)					テキスト記載の実習問題16～18,37を完成させる
	11	12 いろいろな関数(COUNTA,ROUND類,RANK類,IF)					テキスト記載の実習問題20～26を完成させる
	13	14 スパークライン・グラフ機能					テキスト記載の実習問題34,35を完成させる
	15	16 データベース機能					
	17	18 19 20 検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習					練習問題1を仕上げる。
	21	～24 検定問題集_練習問題2_演習による解説後、各自で実習					
	25	26 検定問題集_模擬問題1_各自で実習し、不明点に個別対応。					
	27	28 試験プログラムの使用方法・模擬試験1回目					
	29	～40検定問題集_練習問題2_～7演習による解説後、不明点個別対応					
	41	～44 模擬試験2回目後、解説・質疑・別問題					
45	期末試験実技						
評価方法	(1)授業の中で検定対策として模擬試験を2回実施する。(2)テキスト「30時間でマスターExcel2016」内の実習問題を70%以上仕上げる。(3)授業中に終了しなかった問題集の課題を全て仕上げる。((2)(3)については授業終了時にメモリ提出)(4)問題集の模擬問題1～7について採点表をもとに自己採点しプリントで提出する。(5)検定試験と同程度の実技期末試験を行う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実技	○	◎	○			50%
	模擬試験	○	◎	○			15%
	上記(2)課題提出		◎	○			10%
	上記(3)検定問題集	○	◎	○			0.2
	上記(4)自己採点表提出	○	○		◎		0.05
履修上の注意							

科目名	社会教養ⅡA									
科目名(英)										
単位数	2		時間数		30		担当者		東 まゆみ	
実施年度	2022		実施時期		前期		担当者実務経験		専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務	
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年									
授業概要	就職活動に向けて、面接やエントリーシートの書き方の対策を行う。社会人としてブライダル業界で活躍できる人財になる為に必要な要素を知る。									
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					就職内定				
	○					エントリーシートや履歴書が書き上げられるようになる。				
	△	○				面接にて実力が発揮できるようになる。				
	○					グループディスカッションの流れを知り、役割なども含め本番で実力を発揮できるようになる。				
	△	○				グループワークの流れを知り、役割なども含め本番で実力を発揮できるようになる。				
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	2	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	3	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	4	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	5	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	6	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	7	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	8	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	9	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	10	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	11	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	12	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	13	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	14	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
	15	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導								
評価方法	①履歴書完成2枚以上 ②サブツール1枚提出 評価上記提出につき「R」とする									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	提出課題①②		○	○		△		100%		
履修上の注意	上記出席6回に満たない場合は、不合格とする									

科目名	GCB II										
科目名(英)											
単位数	1		時間数	15		担当者	東 まゆみ				
実施年度	2022		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務				
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科2年										
授業概要	GCB I での考え踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学ぶ。										
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。					
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシックⅡ 志の教育(学生用テキスト)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	グローバルシティズンと“志”					振り返りレポートの作成				
	2	自分を取り巻く環境を知る ～世界の中の日本・日本の中の私～					振り返りレポートの作成				
	3	自己を知る					振り返りレポートの作成				
	4	伝える力を学ぶⅠ～プレゼンテーション～					振り返りレポートの作成				
	5	伝える力を学ぶⅡ～グループコミュニケーション～					振り返りレポートの作成				
	6	先人の志に学ぶ～プロフェッショナルとは～					振り返りレポートの作成				
	7	成功者の考え方に学ぶ～まとめにむけて～					振り返りレポートの作成				
	8	自らの志を言語化する(知行合一の考え方に基づく)					振り返りレポートの作成				
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。										
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	宿題・レポート		○					80%			
	発表・作品			○				20%			
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。										

科目名	ブライダルコーディネーター演習(プランナー専攻)										
科目名(英)											
単位数	6		時間数		96		担当者		中村 直輝		
実施年度	2022		実施時期		前期		担当者実務経験		専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年										
授業概要	2年後期に開催される模擬結婚式に向けて、プランナー専攻として挙式・披露宴の基本的な進行や知識を学び更にはブライダル業界の現役講師より司会・音響照明・演出・プランニングなどを学ぶ。										
授業形式	講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				結婚式の進行を理解する					
	○	○	○			結婚式の音響照明と映像演出を理解する。					
	○	○	○			結婚式の料理サービスの指揮と会場全体の運営(キャプテン)の動きを知る。					
	○	○				結婚式におけるMCの動きやコメントを理解する。					
	○	○	○			ブライダルアイテム(演出やペーパーアイテムなど)を理解する。					
テキスト・教材 参考図書	BIA ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード>、The Business of Japanese Weddings										
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	授業概要説明(シラバスや内容の説明)プランナー専攻の役割理解									
	2~9	音響照明について									
	10~17	ブライダルMCについて									
	18~20	プランナー業務について(業務内容・役割)									
	21~23	プランナー業務について(挙式について)									
	24~26	プランナー業務について(結婚式のマナー・招待状について)									
	27~29	プランナー業務について(席次・配席について)									
	30~32	プランナー業務について(ブライダルキャプテンの動き)									
	33~35	プランナー業務について(施行について・披露宴でのスタッフの役割)									
	36~38	プランナー業務について(披露宴の演出の種類と内容)									
	39~41	プランナー業務について(コーディネートの考え方)									
	42~44	プランナー業務について(ブライダルの契約・約款について)									
	45~46	プランナー業務について(コンプライアンスについて)									
	47	プランナー業務について(模擬婚について)									
	48	授業のまとめ(確認テストあり)									
評価方法	(1)レポート提出(2)課題を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	レポート提出	◎		◎				◎			50%
	小テスト	○		○				○			50%
履修上の注意	出席が33回に満たない場合は、評価を与えない。										

科目名	レストランサービス技能検定対策A(食品衛生HRS筆記対策)その2				
科目名(英)					
単位数	6単位	時間数	96時間	担当者	小形先生
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年				
授業概要	夏季に実施される「レストランサービス技能検定試験(学科)」の合格を目指し、食品衛生、安全衛生など、衛生、食文化に関する基礎を学び、また、今後の就業や生活に必要な知識を身につける。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技： △	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
		○			
		○			
		○			
	○				
目標					
検定合格できるレベルの食品衛生に関する知識を身につける。					
食文化・国際習慣を学び、料飲のサービスに活かすことが出来る能力を身につける。					
安全衛生の知識を学び、今後の生活や職場で活かすことが出来る。					
独特の採点方法に慣れ、安定して合格できるレベルの知識を身につける(合格点60点)。					
テキスト・教材 参考図書	西洋料理 料飲接客サービス技能 日本ホテル・レストランサービス技能協会				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	食品衛生 ～食品管理の法律・食中毒の基礎知識～			教科書に目を通しておいってください
	2	食品衛生 ～食中毒の分類と発生状況～			教科書に目を通しておいってください
	3	食品衛生 ～感染型食中毒～			教科書に目を通しておいってください
	4	食品衛生 ～毒素型食中毒～			教科書に目を通しておいってください
	5	食品衛生 ～寄生虫・害虫について～			教科書に目を通しておいってください
	6	食品衛生 ～腐敗・殺菌と消毒・公衆衛生と食品衛生法～			教科書に目を通しておいってください
	7	中間テスト			合格点が取れるよう、復習をしておいてください
	8	食事の国際習慣・食文化 ～プロトコールについて学ぼう～			教科書に目を通しておいってください
	9	苦情対応・忘れ物・遺失物			教科書に目を通しておいってください
	10	施設管理・食品衛生法			教科書に目を通しておいってください
	11	安全衛生 ～労働災害について～			教科書に目を通しておいってください
	12	安全衛生 ～5Sについて・労働安全衛生に関する法律～			教科書に目を通しておいってください
	13	安全衛生 ～施設管理について・法律とその内容のまとめ～			教科書に目を通しておいってください
	14	期末テスト対策			合格点が取れるよう、復習をしておいてください
	15	期末テスト			教科書に目を通しておいってください
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				

	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
評価方法	①毎回、授業の最初におさらいテストを実施する ②定期試験を実施する ③ポイント整理ノートを作成、提出する以上を下記の観点、割合で評価する 成績評価はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする		
		言語情報	知的技能
	定期試験	◎	○
	おさらいテスト	◎	○
	提出物	◎	
履修上の注意			

科目名	ブライダルコーディネート演習(ドレス・フラワー専攻)									
科目名(英)										
単位数	6		時間数		96		担当者		東 まゆみ	
実施年度	2022		実施時期		前期		担当者実務経験		専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務	
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年									
授業概要	ドレススタイリストに必要なヘアメイク、ネイルの知識、フラワーコーディネーターに必要なブーケや会場装花の専門知識を身につける									
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	△					フラワーコーディネーターに必要な知識を身に付け検定合格を目指す				
		○				婚礼のヘアメイクの手法を学ぶ				
			○			爪の手入れを学びネイル検定合格を目指す				
	△		○			ブーケやアレンジの手法を知る				
テキスト・教材 参考図書										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	フラワーワークショップ(2コマ)								
	3	～11 ネイル検定に向けてつめの手入れを学ぶ(9コマ)					ネイルに必要な物を各自準備する			
	12	～13 クイックチェンジ(和装～洋装早変わり)(2コマ)								
	14	～15 骨格スタイリスト演習(2コマ)								
	16	～27 ブライダル装花について(12コマ)								
	28	～38 フラワーコーディネーター検定取得にむけて(11コマ)								
	39	～46 ブライダルヘアメイクについて(8コマ)					ヘアメイクに必要なものを各自準備する			
	47	～48 ドレスディスプレイについて(2コマ)					ドレスショップの展示の方法を見ておくこと			
	評価方法									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
検定取得		○					20%			
小テスト		○					30%			
課題・レポート		○	△				20%			
実技試験			○				30%			
履修上の注意										